

### 歳出予算事業概要書

款	項	目	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード	41000000					
						うち復活額	一般財源	調整結果額							
03	民生費														
01	社会福祉費														
01	社会福祉総務費		0	1,386	3,297	3,297	0	0							
110	地域福祉活性化事業														
00				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		実施計画計上額					
00			財源内訳	0	2,472	0	0	825							
0															
1. 事業の概要と必要性						節			本年度の財源内訳						
平成18年度「地域福祉計画」を策定し、「誰もが安心して暮らせるまち」をめざして、平成20年度から「地域福祉活性化事業補助金」を活用しながら、地域福祉推進の取り組みを行っている。引き続き、この補助事業を活用し、専門の専任職員を配置し、地域の福祉力を高めていく土壌の形成を促進する。						区分			金額						
【事業概要】						金額			財源						
・専任担当者の配置：地域福祉活動の調整役となるよう、関係機関との連絡調整、事例検討を主宰する。						4	共済費	318	都道	14	02	02	01	201	2,472
・高齢者人材（知恵袋）バンクの登録促進：地域福祉推進の要となる人材の発掘と活用により、地域の活性化、生きがい増進を図る。						7	賃金	2,430							
・見守り支え合いネットワーク強化：社協と連携し、見守り支え合い仕組みづくり強化						8	報償費	70							
						11	需用費	400							
						12	役務費	79							
2. 根拠法令															
社会福祉法															
3. 用地の状況															
4. 基本計画との関連															
第1次湯梨浜町総合計画、湯梨浜町地域福祉計画															
5. 本年度の計画効果															
地域福祉の調整役・相談役となる専門職員の配置により、身近な地域で支え合い、見守り合える仕組みを構築し、機能を強化することができる。															
町と町社会福祉協議会との連携を深め、共同開催事業や支援強化により、一層の地域福祉推進を図ることができる。															
○関係機関の連絡調整会、相談ネットワーク会議開催により情報共有、連携した対応が図られる。															
○保健福祉会への支援、事業所との見守り協力体制促進、定期的な安否確認等各機関の取組の充実及び連携の強化により、ネットワーク機能の充実が図られる。															
6. 財源の説明															
						県補助3/4 3,297千円×3/4=2,472千円									
						町 1/4 3,297千円×1/4=825千円									
目的別															
性質別															